

日本・スペイン・シンガポール国際共同制作長編映画

## カオルの葬式

【英語正式タイトル】 *Performing KAORU's funeral*

## 宝樹寺で撮影する理由について

宝樹寺、そして鏡野町をメインの撮影地に決定するに至った理由について、お話しします！

## 葬儀の物語

岡山県には、県北だけでなく各地にさまざまな慣習が今なお残っています。

知れば知るほどに葬儀の文化って奥が深いです！

## 今月も監督です



## 鏡野町で映画を作るといふこと

監督・脚本・プロデューサー：湯浅典子

前号でもお話ししましたとおり、今作の映画制作に際し2021年の始め、初めて鏡野町に来ることになったのですが、それはこの映画にとって最も大切な葬儀シーン撮影するお寺を見つけるためでした。そして、私が宝樹寺に心から惹かれたのは、本殿にある二つの地獄絵図でした。まぎれもなく一枚の額装に人間の生と死、それらの全てが鮮やかに描かれていると感じたからです。

人とは？ 生きるとは？ そして、人を送るということとは？ 葬儀とは？  
この地獄絵図を前に、頭の中を様々な思いが駆け巡り、釘付けになったことが思い出されます。町の皆さんもぜひ改めてお参りになって、地獄絵図をゆっくりとご覧になってみてください。新しい発見があるかもしれません。

そうやって宝樹寺様をメインの撮影地に決定させていただき、それから鏡野町に残る葬儀の文化について、文献資料だけでなく地域の方にお話を伺い始めたところ、立飯（たちは）という文化【葬儀の時に参列者でご飯など何かを食す】も初めて教えて頂きました。今ではお土産になっていることも多いようですが、映画というのは、このようにいろいろな人や事柄との出会いの中でより深まっていくのだと改めて実感しています。これからは撮影に向け具体的にどうすれば良いのか、など鏡野町の皆さんからもっともっと直接お話を伺いたと思っています。これからどうぞよろしくお願いいたします。



## お問い合わせ先

健康の町かがみのプロモーション本部 担当：小谷 電話(0868)52-9100